



2026年5月13日

各 位

会社名 パルステック工業株式会社  
代表者名 代表取締役社長 青野嘉幸  
(コード番号 6894 東証スタンダード)  
問合せ先 取締役管理部長 工藤孝史  
(TEL. 053-522-5176)

## 中期経営計画及び資本コストや株価を意識した経営の実現に向けた対応に関するお知らせ

当社は、本日開催の取締役会において、2027年3月期～2029年3月期までの3年間を対象とする中期経営計画及び資本コストや株価を意識した経営の実現に向けた対応を策定いたしましたので、お知らせいたします。

### 1. 中期経営計画の策定について

当社グループは、資本コストと株価を意識した経営の実現に向けた考え方や施策等について、取締役会での協議を行い、稼ぐ力の強化や利益率向上に加え、成長性や将来の見通し、株主還元策などの具体的な目標や計画内容を検討し、中期経営計画及び資本コストや株価を意識した経営の実現に向けた対応を策定することといたしました。

当社グループは、2015年3月期以降、12期連続の黒字を継続する状況になりましたが、累積赤字により利益剰余金がマイナスとなり配当可能限度額を下回る状況が続いたことから、財務体質の改善に取り組む、2018年3月期に復配して以降、8期連続の配当を実施しております。しかしながら、利益剰余金の増加により自己資本比率は改善したものの、株価に連動する指標のPBRは1倍を下回る状況となり、業績の回復や復配に伴う改善効果が株価に影響しておらず、資本市場から十分な評価を得ていない状況であると認識しております。

損益面においても、売上高は、25億円前後で推移し、営業利益率は10%以上を維持するなど、安定しつつあるものの、成長性に課題がある状況となっております。

今後の事業環境につきましては、地政学的リスクの増加による国際情勢の不安定化や原材料価格の上昇、人件費の増加など、先行き不透明な厳しい状況も予想されますが、中期経営計画達成に向けた取り組みを確実に実践するとともに、資本効率を意識した経営により一層の企業価値向上を目指してまいります。

	2026年3月期実績	2029年3月期目標
売上	25.5億円	30.0億円
営業利益	3.5億円	5.0億円
ROE	7.3%	9.0%

### 2. 資本コストや株価を意識した経営の実現に向けた対応

中期経営計画の策定と合わせ、資本コストや株価を意識した経営の実現に向けた対応について、現状分析を行い、赤字体質からの脱却や財務体質の改善により、強固な財務基盤としたものの、資本効率の改善と持続的な成長の両立に課題があることから、成長分野への投資を積極的に行うとともに、配当性向50%以上や自社株買いなどの株主還元の実施により、PBR1倍以上の達成に向けた取り組みを実施してまいります。

なお、詳細につきましては、添付資料をご参照ください。

【添付資料】中期経営計画及び資本コストや株価を意識した経営（2027年3月期～2029年3月期）

# 中期経営計画及び 資本コストや株価を意識した経営

2027年3月期～2029年3月期

## パルstek工業株式会社

2026年5月13日



# 当社を取り巻く経営環境の変化と機会

## 経営環境の変化・社会課題

### マクロ（政治・経済・人口）

アジアをはじめとする新興国の成長  
健康・長寿社会  
労働生産人口の減少  
サプライチェーンマネジメント再構築

### 地球の持続可能性

脱炭素に向けた取組み  
クルマのNEV移行

### デジタル社会の伸長

ICTの発展  
デジタルデータ量の増大  
AI・ロボット技術の普及  
クルマの自動運転化

## 当社の事業機会

### X線残留応力測定装置関連

検査の効率化、省人化、品質向上  
ワールドワイドに顧客の多拠点化をサポート  
部品の軽量化、高機能化の実現  
単結晶方位測定による半導体の性能向上、QCDの改善

### ヘルスケア装置関連

臨床検査機器の提供  
予防医療・個別化医療など新たな診断機器の提案

### 光応用・特殊機器装置関連

受託開発・製造する半導体製造装置の提供  
センサ開発、生産現場での光学検査機器の提供

## パーパス 当社の存在意義、目指す方向性

### トコトン光を操り 共に「測る」に挑み 未来の「見える」を創る

当社の企業理念に則り、社会における自社の存在意義を自覚し、会社の繁栄と全てのステークホルダーの幸福との一致を追求していきます。

X線残留応力測定装置関連、ヘルスケア装置関連、光応用・特殊機器装置関連の3つの事業セグメントにおいて、事業規模の拡大、利益率の改善、新規顧客開拓を進めるとともに、顧客が目指す社会課題の解決に「測る」、「見える」で貢献します。

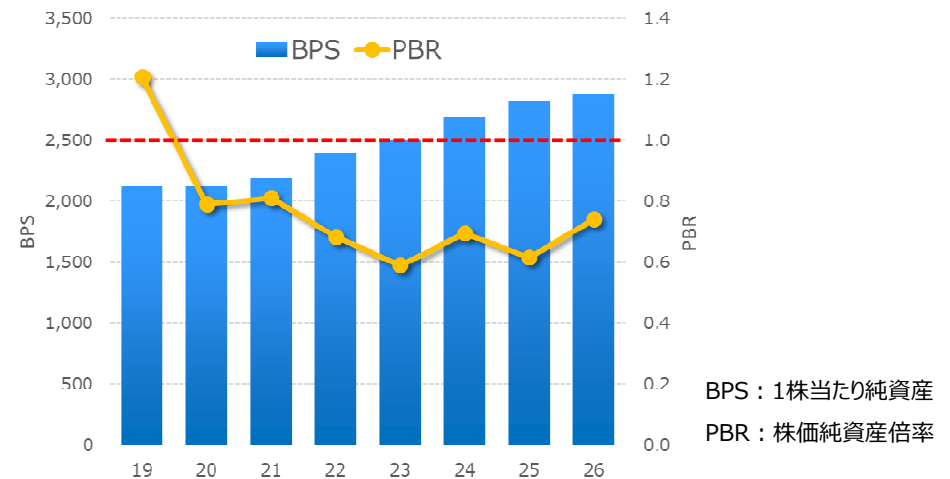
本中計の期間を『非連続な成長』を実現するための仕込み期間と位置づけ、強固な財務基盤を活かし、更なる成長の原動力となる新たな事業の柱を生み出すことを目指します。

# 資本コストや株価を意識した経営の実現

資本効率改善と持続的成長の両立を目指し、PBR1倍超を視野に入れた株主価値の最大化を実現してまいります。

- ・ROE（自己資本利益率）を軸にした資本効率経営
- ・成長投資と資本構成最適化
- ・収益性・成長性・安定性を兼ね備えた事業ポートフォリオの最適化
- ・強固な財務基盤を活かした、研究開発・新規事業創出・M&Aなど成長投資の実行

## 現状認識（2026年3月末）



自己資本比率 **79.9%** 現預金 **2,159**百万円 流動比率 **622.5%** ➡ 強固な財務基盤

株主資本コスト **6.6%** ROE **7.3%** ➡ **9.0% 以上を目指す**

PBR **0.73**倍 ➡ **1.0 倍 以上を目指す**

# 資本コストや株価を意識した経営の実現

## 成長投資と資本構成最適化

- ・X線残留応力測定装置関連、ヘルスケア装置関連、光応用・特殊機器装置関連といった強みのある中核事業に継続投資し、当社の持続的成長を支える事業基盤を確立する
- ・強固な財務基盤を活かし、研究開発・新規事業創出・M&Aなど成長投資を実行する
- ・株主、機関投資家との対話を通じ、中長期的な企業価値向上と資本効率の最適化を図る

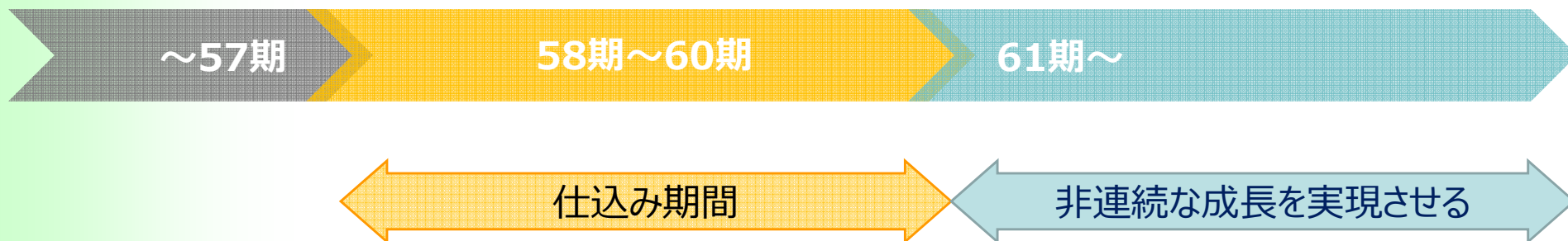
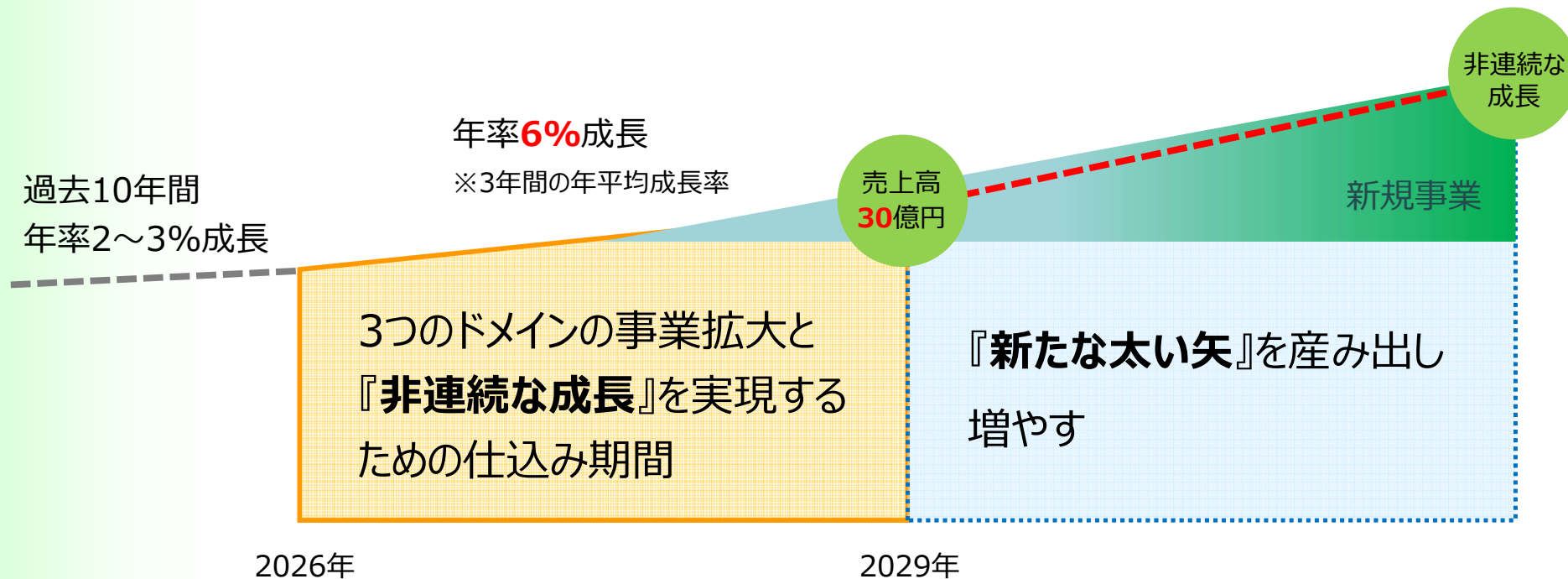
## 事業ポートフォリオの最適化

- ・全体売上に占める自社ブランド製品の売上比率を50%以上確保し、中長期的に利益率の改善と差別化競争力を強化する
- ・分散ポートフォリオ戦略をとる  
現有中核事業を含む複数事業に軸足を置き、収益性、成長性、安定性の3軸で評価し、経営環境の変化に耐性を持つ分散型の事業構造を構築する

## 株主還元目標

- ・配当性向50%以上を目指し、安定的・継続的な配当を実施する
- ・自社株買いなどの機動的な株主還元を実施する

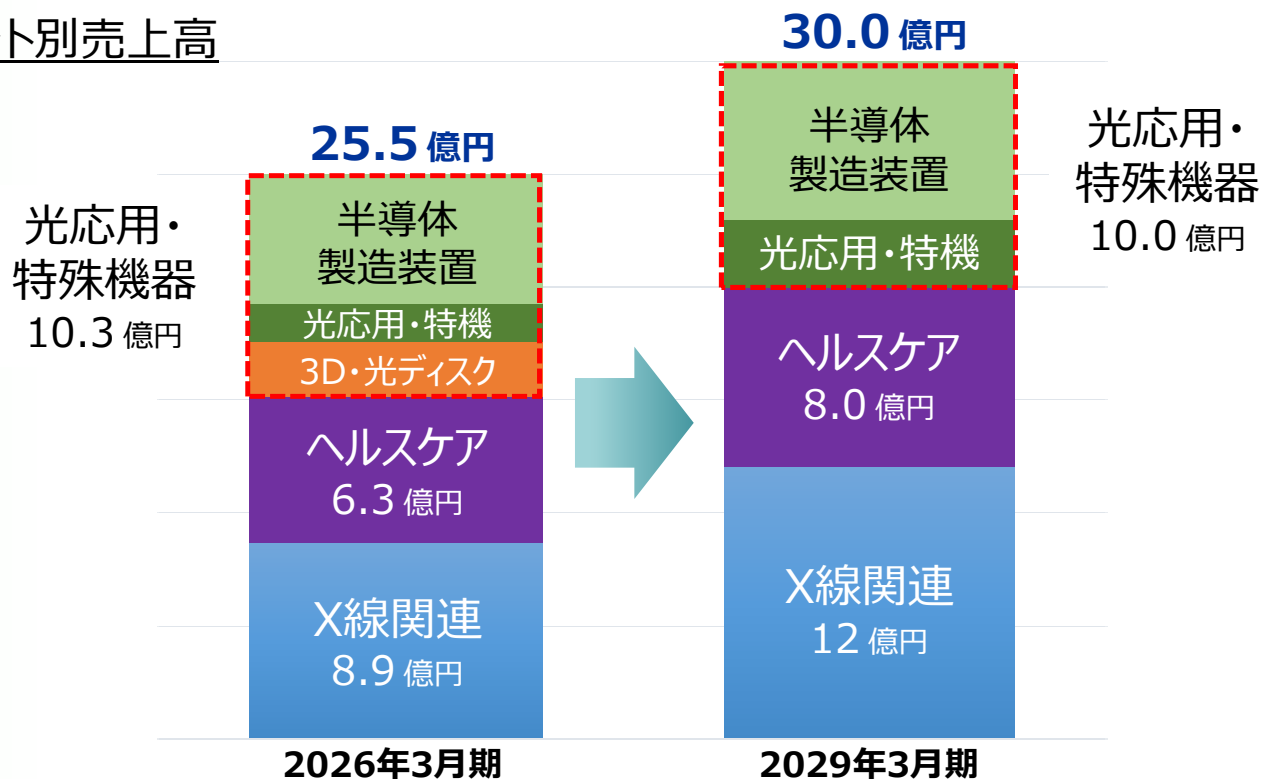
# 本中期経営計画の位置づけと中長期の成長イメージ



# 財務目標

	2026年3月期 実績	2029年3月期 目標	伸び率
売上	25.5 億円	30.0 億円	17.6 %
営業利益	3.5 億円	5.0 億円	42.8 %
ROE	7.3 %	9.0 %	23.2 %

## セグメント別売上高



# 事業戦略：X線残留応力測定装置関連

売上目標

2026年3月期実績

8.9 億円

2029年3月期目標

12 億円

## 2029年にありたき姿

- ◆ ポータブル型X線残留応力測定装置のワールドワイドでの販売増を実現
- ◆ 非接触で『硬さを見える化』するという新しい価値を広め、新市場を獲得
- ◆ 透過回折技術を応用し、顧客目線でのニッチ市場における新製品・新サービスを創出

## 注力テーマ

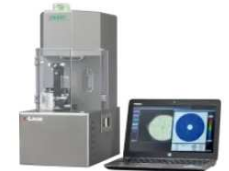
- X線残留応力装置市場は中長期的に安定した需要拡大が見込まれる（自社調べ）。国内外のパートナー企業との連携をより深めることで、ポータブル型X線残留応力測定装置（ $\mu$ -X360J）の販売を拡大する
- 新たに市場投入した製品（単結晶方位測定装置、熱処理硬化層深さ測定装置）のプロモーション活動に注力し、X線関連事業全体の規模拡大を図る
- X線反射回折技術を応用した装置展開を進めてきたが、今後透過回折分野に技術領域を広げることで、より広範な分野において、顧客の抱える課題解決に繋がる製品・サービスの開発を推進する

ポータブル型X線残留応力測定装置  
( $\mu$ -X360J)



主なターゲット市場、分野：  
輸送機器関連、鉄鋼、軸受け、  
大学・研究機関、開発、設計、  
品質管理

単結晶方位測定装置  
(s-Laue)



主なターゲット市場、分野：  
半導体関連、大学・研究機関、  
工具、航空機エンジン・発電タービン、  
開発、生産現場

非接触硬さμラスキャナ  
(muraR)



主なターゲット市場、分野：  
輸送機器関連、品質管理、  
生産現場

熱処理硬化層深さ測定装置  
(HardnessEYE)



主なターゲット市場、分野：  
輸送機器関連、品質管理、  
生産現場

# 事業戦略：ヘルスケア装置関連

売上目標

2026年3月期実績

6.3 億円

2029年3月期目標

8 億円



## 2029年にありたい姿

- ◆ 光で『測る』、診断の『見える化』で臨床検査機器のODMメーカーとしての市場でのプレゼンスを高める
- ◆ 顧客の目指す医療の質の向上と早期発見、治療に必要な臨床検査機器で人々の健康と幸福に貢献する

## 注力テーマ

- 遺伝子・微生物・生化学・血液検査機器における安定品質と高い技術力の追求
- 国内外の法規制・規格対応を通じた顧客価値の提案
- 主要顧客の製品ライフサイクルに基づく、開発・製造による長期供給を通じた事業基盤の安定
- 予防医療・個別化医療における新たな診断機器の価値創出による新規顧客の獲得
- 生產品目・規模拡大に対応した、柔軟な製造・供給体制の構築
- 自社医療機器開発・消耗品による収益構造の段階的な改善

医療機器製造エリアを拡張(475→900m<sup>2</sup>)



# 事業戦略：光応用・特殊機器装置関連

## 売上目標

2026年3月期実績

10.3 億円

2029年3月期目標

10 億円

## 2029年にありたき姿

- ◆ 既存製品の販路拡大
- ◆ 日立ハイテク向け半導体製造装置開発・製造における共創パートナーの更なる発展
- ◆ 光波センシングをコアにした『測る』『見える』ソリューションを実現する新製品の創出

## 注力テーマ

### □ 波面センサ

UV～SWIR（Short-Wave Infrared：短波長赤外）対応モデルのラインナップ拡充と、機能・操作性向上  
半導体製造・光通信・次世代光学素子分野で新規顧客の獲得と市場開拓を進める

### □ 半導体製造装置

設計開発力と製造品質の両輪で顧客の求めるSQDCに応える  
Win－Winのパートナー関係を一層深化させる

### □ 新製品

ニッチ市場をターゲットにした自社ブランド製品の開発を推進する  
半導体および精密検査分野の多様化するニーズを掴む

高速波面センサ  
(PWSシリーズ)



波面計測システム  
(LUCASシリーズ)



# 事業戦略：新製品開発、新規事業創出

売上目標

2029年3月期目標

1 億円

※ 既存事業セグメントを含む自社ブランド新製品売上

## 2029年にありたい姿

- ◆ 当社コアコンピタンスである光波センシング技術を活用し、顧客・社会の抱える課題の解決に資するニッチ市場に向けた新製品・新規事業を創出、あらたな事業の柱を育成

### 当社の目指す方向性

トコトン光を操り 共に「測る」に挑み  
未来の「見える」を創る

### 保有技術

光波センシング技術  
サーボ技術  
微小信号の高感度検出技術  
精密機械技術



### 経営環境の変化・社会課題

マクロ  
(政治・経済  
・人口)

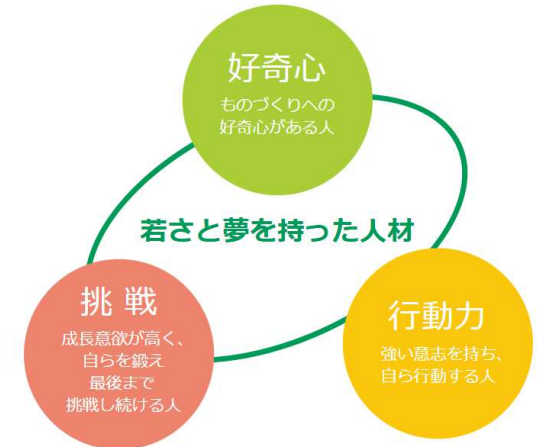
地球の  
持続  
可能性

デジタル  
社会の  
伸長

## 人財戦略

- 要員計画に基づいた採用活動の実施
- 戦略的なM&Aによる事業の拡大と人材の確保
- 若手の積極的な登用により年齢構成の適正化
- 階層別教育の拡充により、社員のキャリアデザインを後押し
- 社員のこころとからだの健康をサポート
- 誰もが輝きいきいきと活躍できる、働きやすい環境づくり

求める人物像



## キャッシュアロケーションポリシー

- 持続的な成長投資や配当の原資は、営業CFを基本とする
- 研究開発、M&A、人財投資、省エネ設備等に積極的に投資する
- 株主還元は、配当性向50%以上を目指し、安定的・継続的な配当を実施する
- ROEを向上させ、バランスシートの最適化を図る

中計期間の累計（2027年3月期～2029年3月期）

戦略投資	7.2 億円
人財・設備投資、M&A	
研究開発費	2.8 億円
株主還元	5.5 億円
配当、自社株買い	

# PULSTEC

## パルステック工業株式会社

### 本資料の取り扱いについて

本資料に記載されている内容は、資料作成時点の当社独自の判断に基づくものであり、経済状況や市場動向の変化等、様々な理由により変化する可能性があります。記載された将来の施策の実現を確約したり、保証するものではありません。